

【件 名】	多摩川南岸道路(丹三郎工区)越沢橋(仮称)地質調査	【事務所名】	西多摩建設事務所
【施行場所】	東京都西多摩郡奥多摩町寸庭地内 主要地方道奥多摩青梅線(第45号)	【受託者名】	株式会社東京地質コンサルタント
【工 期】	令和7年7月4日から令和7年11月26日まで	【主たる技術者名】	主任技術者 岡部 邦彦

【委託概要】

多摩川南岸道路は、国道411号のバイパスとして、防災性の向上、交通渋滞の緩和、生活基盤の強化を目的とした整備事業である。本委託は、本事業で整備する越沢橋（仮称）の橋脚・橋台及び仮設構台の詳細設計に必要な基礎資料の採取を目的とした地質調査である。

【表彰理由】（※発注者側評価）

急峻な山岳地という現場条件下において、周辺を通る一般の登山客の安全確保を最優先事項と位置付け、搬入路としてモノレール設置を自ら綿密に計画・提案し、機材の搬出入を極めて効率的に実施した結果、トラブルや現場災害を一切発生させず、完全無事故で作業を完遂した。また、今後実施する詳細設計を見据え、地盤の傾斜方向や地盤定数について、専門的知見に基づいた確かな助言及び提案がなされるなど高度な施工管理能力、確かな品質確保を体現しただけでなく、発注者への技術育成貢献までもも主導した功績は極めて顕著であり、優良技術者として表彰するに極めてふさわしい。



急峻山岳地での足場計画



登山道の安全対策

【取り組み姿勢】

調査箇所はすべて民地であり、用地折衝中の箇所があった。調査にあたっては地権者の理解と協力が不可欠な状況であったが、受託者は、粘り強く丁寧な説明をすることにより、円滑に調査を実施し、事業への理解と協力を深め、トラブルなく進めることができた。

頁岩は、亀裂が多いことが想定されたため、速度検層の調査深さについて積極的な提案があった。また、受託者の提案により、発注者若手職員などのOJTの場を設け、試験方法の仕組みや地質情報などの説明を現場で実施した。

既設の調査結果と本調査の結果と整合し、新たな地層の存在、地質学的な考察がなされた。また、橋梁の予備設計資料を基に、下部工の各横断位置（センター、左右端）での柱状図を自ら作成し、地層の傾斜による支持層の位置等、今後の設計における注意点等の提案があった。



民地でのモノレール設置



OJT実施状況